



11月号

2017年11月発行

長岡市

市民活動サポートセンター発行

バンビオ1番館1階

075-963-5505 fax:075-963-5523

=2017年の長岡京ガラシャ祭について=

本年の長岡京ガラシャ祭は、11月3日（金）～12日（日）がガラシャウィーク、
行列巡行・楽市樂座は、11月12日（日）です。

長岡市の市民まつりであるこの祭りは、今から約440年ほど前、織田信長の命により、
細川氏の勝竜寺城に嫁いできた明智光秀の娘「玉」、のちの細川ガラシャの「愛と感動の物語」をテーマに、勝竜寺城公園の完成と、市制施行20周年を記念して、平成4年から開催したお祭りで、今年で26回となります。

3日～本祭り12日の間多くのイベントが行われます。是非お楽しみ下さい。



=ホームページ作成講座報告=

2017年9月15日（金）無料にて、簡単にホームページが出来る講座を開催しました。
この講座の指導については、Jimdo Cafe京都の方々にお願いしました。各ボランティア団体様は、自分の団体のホームページを持ちたいという要望が多く、18名の参加者が集まりました。
「ホームページ」を「家」に例えた説明から始まりHPを持つメリットなどお話をいただき、フリーソフト「Jimdo」を使ったHPの作成について事前準備など具体例を交えながら詳しく教えていただきました。
その後実際にホームページを作成された事例も2件ほど報告を受けており、大成功でした。



=パソコンなんでも相談会の報告=

9月20日（水）、市民活動サポートセンター内で「パソコン何でも相談会」が開催されました。以前より登録団体様からパソコンに関する質問、アドバイスを求められることが多くあり、今回はインストラクターの方をお迎えし、一人15分～20分の範囲でご相談をしていただきました。個別相談ということで相談者様からは「説明が分かりやすく、疑問点が解決した！」というお声をいただきました。



=「ボランティアの為のボランティア」公開講演会の報告=

2017年9月30日(土)バンビオ3階特別展示室にて株式会社 関西総合研究所 宮本三恵子氏(初代長岡京市民活動サポートセンター事務局長)をお招きして中間支援組織「サポセン」の役割と期待と題して講演をしていただきました。



平成8年ぐらいから長岡京市では市民活動が活発化し、平成12年には「まちづくりセンター」が設立されました。平成13年にはNPO法人長岡京市民活動サポートセンターが設立され、平成14年3月に「長岡京市民活動サポートセンター設置条例」が可決され、15年が経過しました。

設立当初の苦労話やサポセンとしての位置づけや課題などをくわしく説明をしていたとき、また、一緒に汗水流した仲間も参加者の中においてになり、なつかしい同窓会のような和やかな講演会となっていました。

講演会のなかで宮本様の貴重なお話を伺い、その中で得たものは中間支援組織としてのサポセンの役割は、ヒアリングを重ねることで現状を把握し課題を見つけ、形にして

あげること、ボランティア活動は自主的な社会活動ではあるが、きっかけづくりは話し相手をみつけ交流を深め、自分ができることを見つける事であるということでした。もちろん中間支援組織として運営をするには、情報の収集・提供・現状調査・研究・人材育成・教育活動支援(助成)・コンサルティングと多岐にわたります。そのためにも行政との協働をより深くし連携を深めていかなければ真のボランティアの為のボランティア活動は機能していかないのではと感じました。

「協働のまちづくり」を推進していくためには市民活動サポートセンターの意義と役割りを多くの方に知つていただくことが重要だと認識しました。なにも確立していないところから今日までのサポセンの礎を築いてくださいました。ご尽力に深く感謝をし、これからサポセンの在り方を再認識できた大変有意義な講演会となりました。



サポートセンター設立に苦労された仲間です。

=プロジェクト・パソコン貸し出しのお知らせ=

データープロジェクター(EB-S04), 1回, バンビオ館内1回 500円 1回4時間以内
館外持出 1泊 1,000円, 登録団体の使用に限る。

作業用パソコン, 1回 300円 4時間以内, サポセン内の使用に限る

=サポセン事務局からのお知らせ=

**11月のなんでも相談会は

11月6日(月)・11月20日(月)の14:00~17:00 サポセンにて行います。ご相談お待ちしています。